

地球地図フォーラム開催経費

(概算要求額 16百万円)

【背景・目的】

地球地図を世界の国家地図作成機関の協力により整備する地球地図プロジェクトは、1992年に建設省(当時)が提唱し、国土地理院の主導の下、密接な国際協力によって推し進められ、2007年度に全陸域の地球地図が完成する。

地球地図フォーラムを開催することにより、地球環境を把握する上での地球地図の有用性を世界に向けて広く発信。

【施策の概要】

環境問題を主要テーマとする北海道洞爺湖サミットにあわせて、地球環境の把握のために不可欠な地球地図の公開および地球環境問題への利活用を提案する「地球地図フォーラム2008」を、平成20年度に開催。

【効果】

地球地図プロジェクトの地球環境分野における位置付けをさらに確固たるものとし、地球環境問題に関する研究を促進。

地球地図は

地球環境問題解決のために、世界各国の地図作成機関が協力して、全世界の環境に直結した植生や土地利用など8項目のデータを統一規格で整備した地図です。

全世界を対象に1kmの分解能で
土地利用や植生などの地表に関する情報
山脈や溪谷の地表の形
道路網など人間活動の広がり等の様子を把握できる

157ヶ国・16地域が地球地図プロジェクトに参加
(全陸域面積の95%、平成19年8月15日現在)

地球地図フォーラムは

全球・地域規模の地理情報の利用者と提供者が経験及び情報を交換し、地球環境問題への利活用を提案することを目的とします。

開催実績

1997年(平成9年)	11月	岐阜
1998年(平成10年)	6月	米国
2000年(平成12年)	11月	広島
2003年(平成15年)	7月	沖縄

